

## NEWS RELEASE

報道関係者 各位

2010年8月4日

国立大学法人 東京農工大学

### 東京農工大学に元気で可愛いアメリカンミニホースの子馬が誕生 ～子馬の愛称を募集！～

東京農工大学において、世界最小の馬として知られているアメリカンミニホースが、7月26日（月）午後7時11分に無事出産しました。東京農工大学では2回目となる馬の出産で、緊張と期待の中、無事に元気で可愛い牝馬（ひんば）が誕生しました。また、平成22年8月4日～平成22年8月27日の期間で、子馬の愛称を広く募集することにしました。概要は以下のとおりです。



7月26日、生まれたばかりの子馬



8月2日、仲良く並ぶ子馬（前）と母馬

#### ◆概要◆

東京農工大学には、「アップルサイダー（牡馬）」と「シナモン（牝馬）」の2頭のアメリカンミニホースがおり、積極的に地域のイベントへ参加したり、幼稚園や小学校を訪問し、馬車を引いたり、ふれあい活動を行っている。この2頭には、平成20年8月13日第一子「アップルパイ（牝馬）」が誕生し、元気に育って現在では、親子3頭で地域の人気者になっている。その2頭に再び子馬が誕生することとなり、東京農工大学では獣医学科教員の指導を受けながら、「ミニホースの会」と「馬術部」の学生が出産に向けて万全の体制を整えていた。7月26日（月）の早朝、出産が近いと判断され、緊張と期待の中、午後7時11分、無事に元気で可愛い鹿毛（かげ）の牝馬を出産した。

また、平成22年8月4日～平成22年8月27日の期間で、子馬の愛称を広く学内外から公募することにした。

#### ●両親略歴

☆父：クイックシルバー・アップルサイダー号

1991年6月26日アメリカ生まれ。アメリカンミニチュアホース協会の正式登録馬。平成15年3月来日。東京農工大学獣医学科卒業生で、世界的遺伝学者でもあり東京農工大学名誉博士でもある故大野乾（おおの すずむ）博士の死後、翠（みどり）夫人から博士の母校である東京農工大学へ寄贈。

☆母：シドニー・クリーク・シナモン号

1997年7月25日アメリカ生まれ。平成19年6月来日。アップルサイダーのお嫁さんとして翠夫人から寄贈。米国で2頭東京農工大学で1頭の子馬の出産経験があり、子育ての上手な母馬である。

●アメリカンミニホース

愛玩用及び馬車用として、馬の体型を維持したまま小型に改良された馬で、見た目にはサラブレッドやアラブ種と変わらない。米国では愛好者が多く、競技会や品評会が例年開催されている。運動能力に優れ、馬車を引いたり、障碍（しょうがい）を飛んだりすることが得意。

●子馬の様子

子馬は牝馬で、体重 11.4kg、体高 56cm で生まれ、毛色は両親と同じ「鹿毛」である。誕生後約 40 分で起立し母馬からの抗体を移行させるために重要な初乳（母乳）を飲み、27 日には既に屋外の専用の放牧場で元気に走り回っており、時折、母親であるシナモンの真似をして草を食べる素振りをみせるなど、無邪気な一面もみせている。

●妊娠期間

シナモンの妊娠期間は 330 日で、馬の平均妊娠期間の 340 日よりやや短かったが、アメリカンミニホースの場合 20 日程度前後することがあり、平均的な妊娠期間の範囲内であった。

●出産の経過

7 月 26 日午前 7 時頃：ミニホースの会の学生がシナモンの様子を確認したところ、体温が平熱より 0.5 度低下していたことから、出産が近いと判断。出産の準備に取り掛かった。

午後 7 時 08 分頃：破水後子馬の前肢が出てから全身が出るまでに 3 分程度かかり、無事に出産。

午後 8 時 30 分頃：子馬は自分で立ち上がり、母馬からの抗体を移行させるために重要な初乳を飲んだ。

◆本件に関する問い合わせ◆

☆上記写真をご希望の場合

●広報・社会貢献チーム

東京農工大学広報・社会貢献チーム

TEL：042-367-5895 MAIL：koho2@cc.tuat.ac.jp

☆リリース内容について

●農学部

東京農工大学農学部教授：田谷 一善

TEL：042-367-5767 MAIL：taya@cc.tuat.ac.jp



7 月 26 日、初乳（母乳）を飲む子馬



8 月 3 日、元気に走り回る子馬（右）